

3 「つなぐ」やまなし——長寿命化・持続可能

長寿命化・
持続可能
「つなぐ」
やまなし

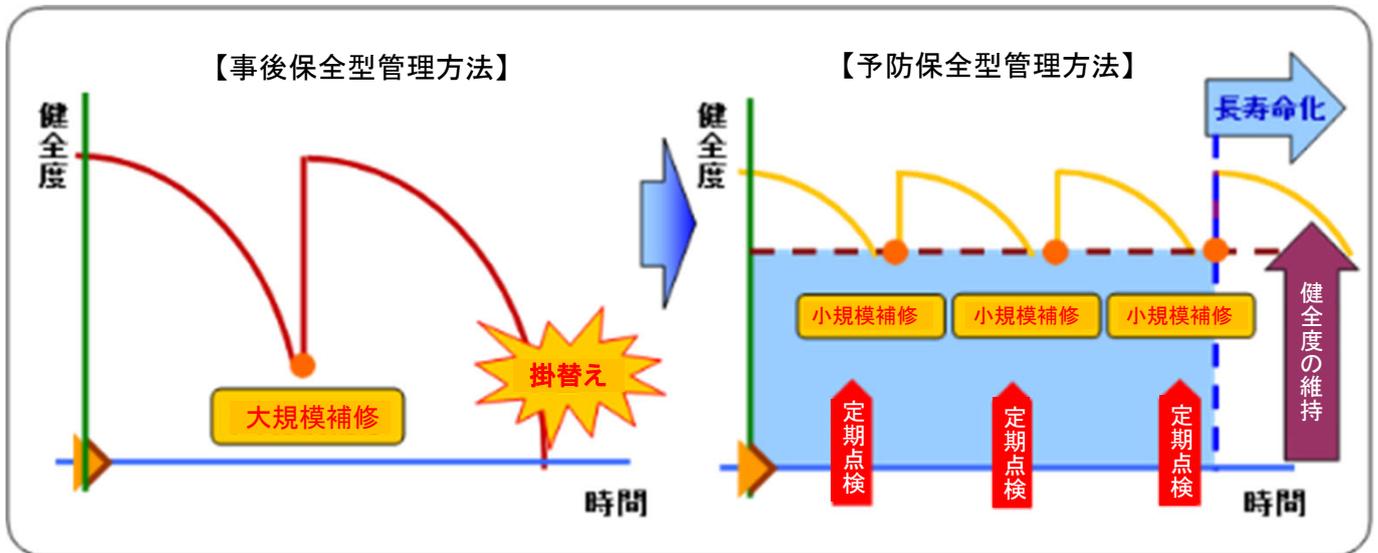
重点目標12 インフラの長寿命化

施策27 道路・河川施設等の長寿命化の推進

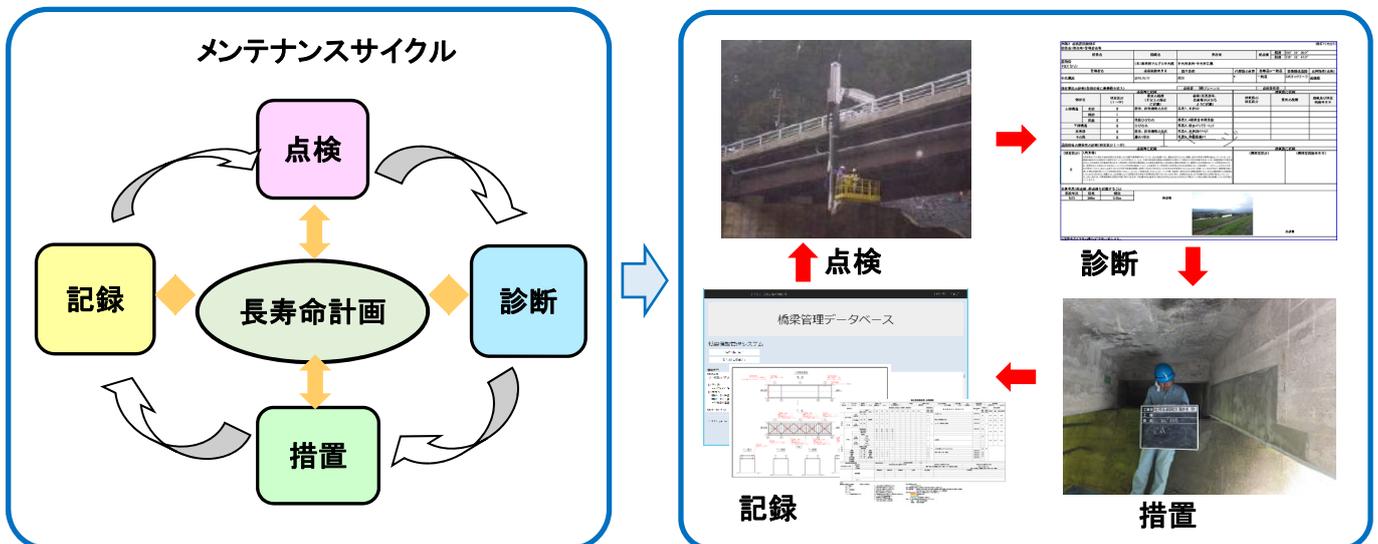
《取組内容》

○長寿命化にあたっては、早期の補修を必要とする事後保全的な補修を進めるとともに、トータルコストを縮減し予算を平準化していく予防保全型維持管理によるメンテナンスサイクルを確立して、それぞれの施設や建物において計画的な維持・管理を推進します。

■インフラ長寿命化のイメージ



■メンテナンスサイクル確立のイメージ



長寿命化・
持続可能
「つなぐ」
やまなし

重点目標12 インフラの長寿命化

施策27 道路・河川施設等の長寿命化の推進(道路施設)

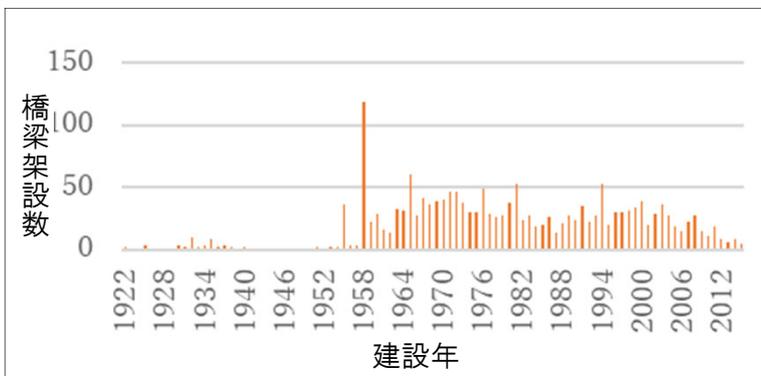
《取組内容》

○建設から50年が経過し、早期に補修が必要な橋梁やトンネル等の道路施設が多く存在することから、各施設の長寿命化計画に基づき、老朽化対策を推進します。

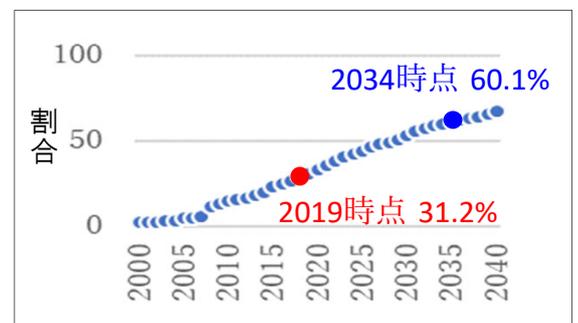
■長寿命化が必要な橋梁のイメージ



■建設年別橋梁数



■50年経過橋梁の割合



《主な事業》

区分	事業箇所	整備内容	想定事業量(R2~7) (億円)	備考
継続	国道140号 横根跨線橋ほか	橋梁補修	55	

《指標21 長寿命化のために必要な補修に着手した橋梁の割合》

現状の姿 22%	令和4年度の姿 46%	令和9年度の姿 100%
・予防保全の観点から補修が必要な橋梁の内、当該年度までに補修が必要な橋梁の補修に着手した割合が22%です。	・予防保全の観点から補修が必要な橋梁の内、当該年度までに補修が必要な橋梁の補修に着手した割合が46%になります。	・予防保全の観点から補修が必要な橋梁の内、当該年度までに補修が必要な橋梁の補修に着手した割合が100%になります。

※山梨県橋梁長寿命化実施計画に基づき補修に着手する橋梁の割合

《取組内容》

○高度経済成長期以降に建設した多くの河川・砂防施設の老朽化が急激に進行し、安全への脅威となっていることから、各施設の長寿命化計画に基づき、老朽化対策を推進します。

■長寿命化が必要な河川施設



水門開閉装置の老朽化



ダム取水ゲート鏽

■長寿命化が必要な砂防施設

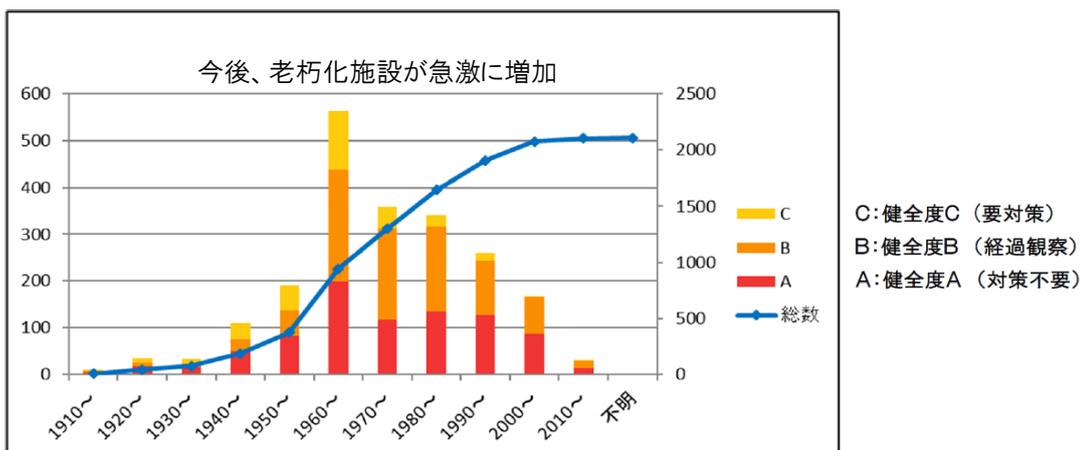


基礎洗掘



躯体破損

■砂防堰堤健全度結果(2016-17)



《主な事業》

区分	事業箇所	整備内容	想定事業量(R2~7) (億円)	備考
継続	河川管理施設の長寿命化 河口湖水門ほか	改修	10	
継続	ダム施設の長寿命化 広瀬ダムほか	改修	31	
継続	砂防施設の長寿命化 湯沢川ほか	改築	54	

長寿命化・
持続可能
「つなぐ」
やまなし

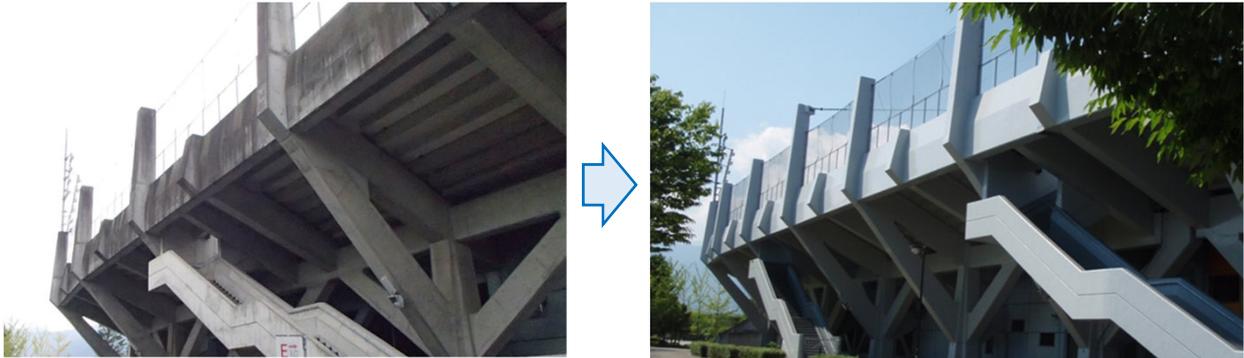
重点目標12 インフラの長寿命化

施策27 道路・河川施設等の長寿命化の推進(都市公園・下水道施設)

《取組内容》

○老朽化する都市公園の機能を確実にかつ効率的に確保し、利用者の安全・安心を確保するため、点検・補修・改修等に取り組みます。

■公園の長寿命化対策(小瀬スポーツ公園 野球場外壁老朽化対策)



《主な事業》

区分	事業箇所	整備内容	想定事業量(R2~7) (億円)	備考
継続	公園の長寿命化 小瀬スポーツ公園ほか	改修等	55	

《取組内容》

○老朽化する下水道施設の機能を確実にかつ効率的に確保し、利用者の安全・安心を確保するため、点検・補修・改修等に取り組みます。

■下水道管路の長寿命化対策



《主な事業》

区分	事業箇所	整備内容	想定事業量(R2~7) (億円)	備考
継続	下水道施設の長寿命化 富士北麓流域下水道ほか	改修等	50	

《取組内容》

○昭和40年代から50年代にかけて建設した多くの公営住宅が更新時期を迎えるため、長寿命化計画に基づく施設の老朽化対策を推進します。

■公営住宅の長寿命化対策



《主な事業》

区分	事業箇所	整備内容	想定事業量(R2~7) (億円)	備考
継続	公営住宅の長寿命化 貢川団地ほか	改善等	60	

《指標22 県営住宅の長寿命化住戸数（累計）》

現状の姿 463戸	令和4年度の姿 560戸	令和9年度の姿 800戸
・463戸の県営住宅において、建替や改善工事により、長寿命化が図られています。	・560戸の県営住宅において、建替や改善工事により、長寿命化が図られます。	・800戸の県営住宅において、建替や改善工事により、長寿命化が図られます。

長寿命化・
持続可能
「つなぐ」
やまなし

重点目標12 インフラの長寿命化

施策28 林道・治山施設の長寿命化の推進

《取組内容》

- 林道・治山施設の効果を維持し、地域住民の生活や林道利用者の安全を確保するため、林道施設長寿命化計画や治山保全計画に基づいた点検・補修・改修等を推進します。
- 特に、一般車両が通行する林道の開放路線では、早期対策が必要な箇所を優先し、長寿命化に取り組みます。

■ 橋梁補修(床板補修、耐震補強)



■ 谷止工補修



《主な事業》

区分	事業箇所	整備内容	想定事業量(R2~7) (億円)	備考
継続	林道施設の長寿命化 南アルプス線ほか	橋梁補修・改修	15	
継続	治山施設の長寿命化 矢口沢川ほか	谷止工等補修	1	

《指標23 長寿命化対策済の林道、治山施設数》

現状の姿(H30) 232箇所	令和4年度の姿 304箇所	令和9年度の姿 364基
・県営林道の橋梁や谷止工など232箇所の補修が実施済です。	・優先的に対策が必要な箇所を中心に、施設の補修が進んでいます。	・長寿命化計画に基づく対策が実施され、施設の機能強化が図られています。

※山梨県県営林道施設長寿命化計画及び山梨県治山施設保全計画に基づき対策予定の施設数

《取組内容》

○基幹的農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、機能保全計画に基づき経済的かつ長期的に施設機能の維持が図られるよう整備を推進します。

■農業水利施設の点検状況



開水路



水路トンネル

■農業水利施設の長寿命化対策



水路トンネル 整備前



水路トンネル 整備後

《主な事業》

区分	事業箇所	整備内容	想定事業量(R2~7) (億円)	備考
継続	農業用施設の長寿命化 釜無川右岸地区ほか	管路、水路補修工	26	

《指標24 基幹的農業水利施設の整備箇所数》

現状の姿 18箇所	令和4年度の姿 32箇所	令和9年度の姿 —
・基幹的農業水利施設において、18箇所の長寿命化対策が完了し、基幹的農業用水利施設の機能が安定的に発揮されています。	・かんがい排水事業により32箇所の基幹的農業水利施設の長寿命化対策が完了し、安定した用水供給が可能となり、また、適切な保安全管理をすることで、持続的な農業経営が図られます。	・基幹的農業水利施設の長寿命化対策を実施し、安定した用水供給が可能となり、また、適切な保安全管理をすることで、持続的な農業経営が図られます。

長寿命化・
持続可能
「つなぐ」
やまなし

重点目標13

持続可能なまちづくり

施策30

コンパクトなまちづくりの促進

《取組内容》

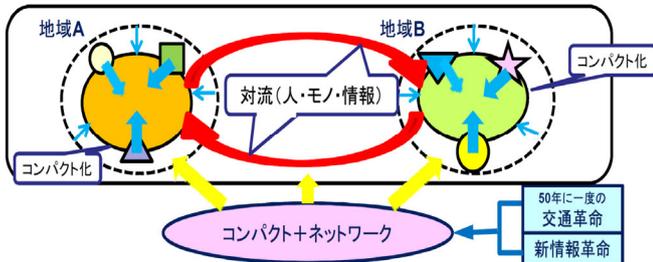
○人口減少や高齢者の増加が見込まれる中で、住民が医療や福祉、商業などの生活サービスを楽しむ環境を持続的に確保するため、市町村が居住や生活サービス機能を計画的に誘導できるよう、各種まちづくり計画等に対する指導・助言を行います。

■コンパクトなまちづくりのイメージ

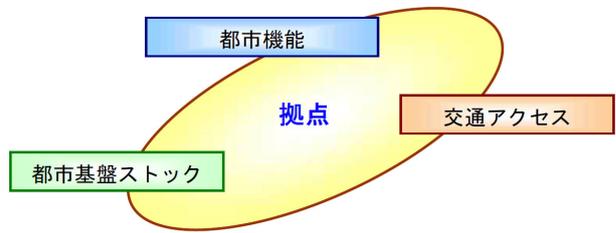
- ◎生活サービス機能の集中で容易にアクセス可能
- ◎コンパクト化された地域間が相互に機能補完

■コンパクトなまちづくりの推進に向けた拠点の検討

- (条件)
- ◎都市機能が集積
 - ◎公共交通等により到達可能
 - ◎既存の都市基盤ストックが活用可能

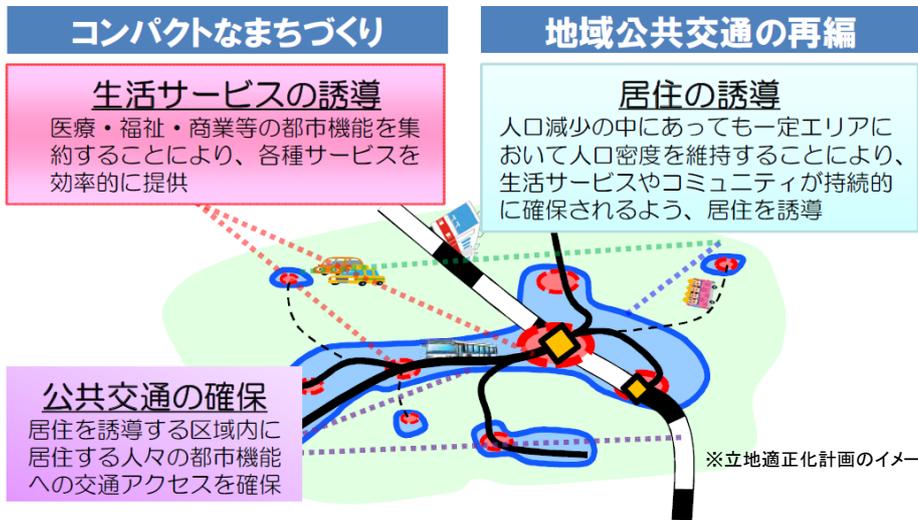


出典:国土交通省「国土のグランドデザイン2050」



- (構成)
- ・広域拠点
 - ・地域拠点
 - ・既存都市機能立地地区
 - ・都市機能補完地区
 - ・地区拠点
 - ・新拠点(リニア駅など必要に応じて創出)

■市町村の立地適正化計画の策定に向けた指導・助言



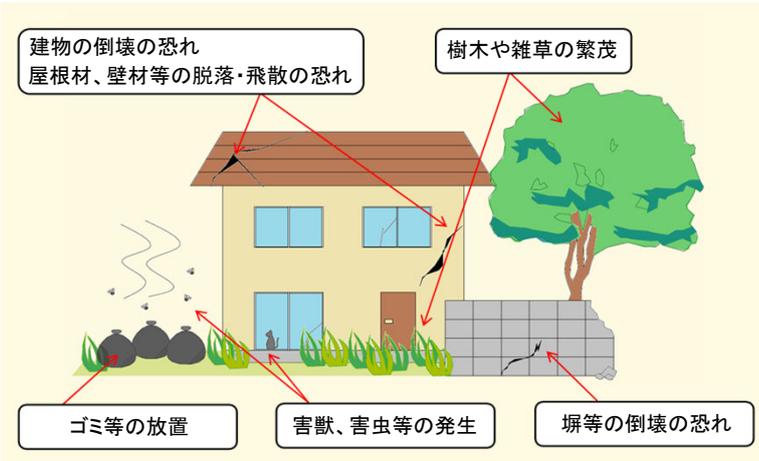
※立地適正化計画のイメージ図

出典:国土交通省「第4次社会資本整備重点計画の概要」

《取組内容》

- 空き家対策の実施主体である市町村を支援するため、民間団体等と連携し、情報提供、技術的な助言・連絡調整を行うとともに、除却や利活用に対し、国の補助制度と連携した財政支援を行います。
- 空き家の除却や利活用を促すため、専門家や市町村と連携したセミナーや相談会を開催します。
- 中古住宅の流通を促進するため、既存住宅状況調査の実施を支援します。
- 民間事業者による地域活性化や二拠点居住等に資する空き家活用ビジネスを普及させ、空き家の利活用を推進します。

■空き家等の管理不全の状況の例



■セミナー・相談会の開催



■空き家対策事業の例
空き家の利活用



空き家の除却



地域の公民館に活用



敷地をポケットパークに整備

■既存住宅状況調査への助成

既存住宅の売買をお考えの方へ
インスペクション

住宅の調査

既存住宅を売買する前にいかがですか？

調査費用の **1/2** を助成します！
上限5万円

《指標25 危険度の高い空き家の解消件数》

現状の姿	令和4年度の姿	令和9年度の姿
—	108件	200件
・空き家率全国ワーストワンであり、老朽化した空き家が周辺の生活環境に悪影響を与えています。	・危険度の高い空き家108件が除却等により解消され、周辺住民の生活環境への悪影響が解消されつつあります。	・危険度の高い空き家200件が除却等により解消され、周辺住民の生活環境への悪影響が解消されます。

長寿命化・
持続可能
「つなぐ」
やまなし

重点目標13 持続可能なまちづくり

施策32 良好な景観づくりの推進

《取組内容》

- 地域の景観づくり活動を活性化させるため、市町村の景観行政を支援するとともに、地域で主体となる地域景観リーダーや地域住民同士が互いに情報交換し、協力して景観づくり活動ができるよう支援します。
- 条例に適合していない屋外広告物について、継続的に指導を進め適正化を図るとともに、良好な屋外広告物への改善を啓発していきます。

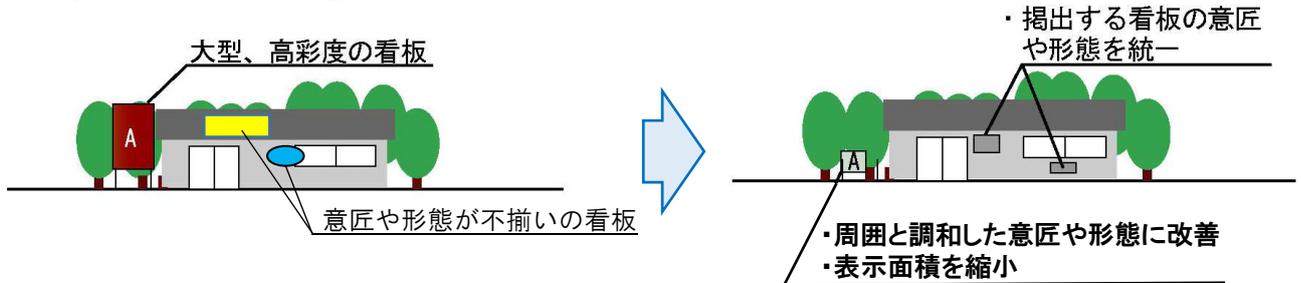
■市町村と住民が協働で実施した景観づくり活動例



■市町村や住民団体向け景観セミナーの開催



■良好な屋外広告物への改善イメージ



《指標26 屋外広告物の適正化率》

現状の姿	令和4年度の姿	令和9年度の姿
80%	85%	90%
・屋外広告物の約80%が適正な状態となっています。	・屋外広告物の約85%が適正な状態となっています。	・屋外広告物の約90%が適正な状態となっています。